

207
294

国立国会図書館 名代振袖心中 : 2巻 207-294

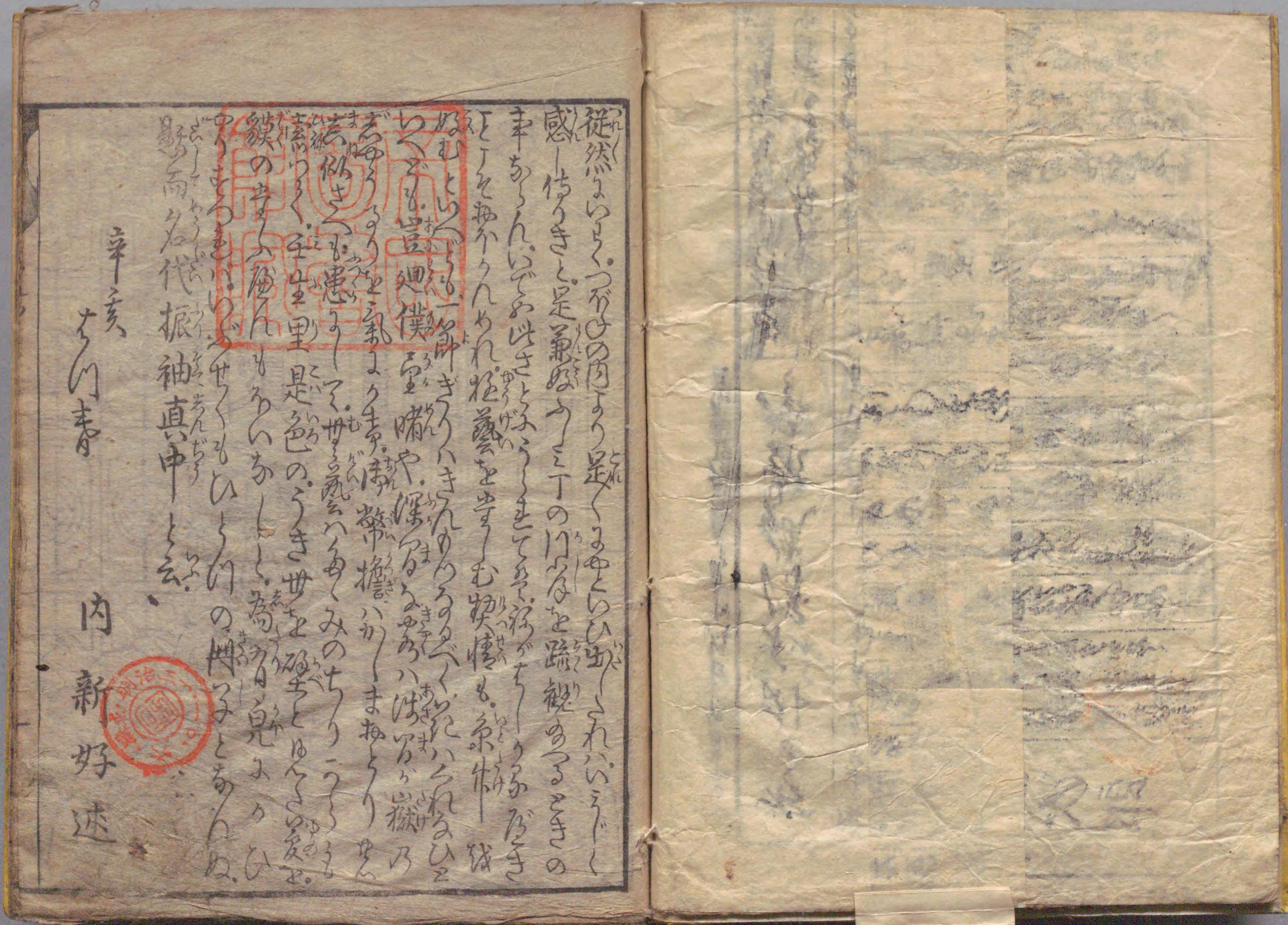
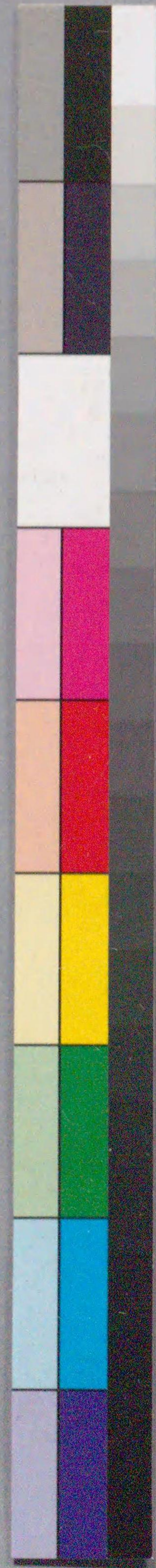


ガラス使用

寛政三年辛亥初春發兌
名代振袖心中
全二冊
内新作
吉生堂

207
294

中心袖振代々



徒然といふつゆの肉より是くもあつひぬこれいふとく
 感し傳ふきと足兼ぬう三丁のけをを踏観あつとまの
 事あつんいぞあ此さとふうまてそそつがさうくあな手
 正しを扱なくられ花をさすも物懐も糸作一袋
 ぬむといふも一餅きりハキんめつるさくあつたはれなひと
 わくも言廻僕をさすや深なるまかハはあな獄乃
 志中よりうりそあよくそそ帯擔ハかまねくり
 志仙せつも患うりてサるあへみのかつりこつ
 志わくも至生里是色のくき世を破ちとゆるさあ
 緞の身もあらんもあいかしと為る日見ふりひ
 中りまのまのいせくもひと門の冊子とあらんぬ
 野の而名代振袖真中と云

辛亥
たのま

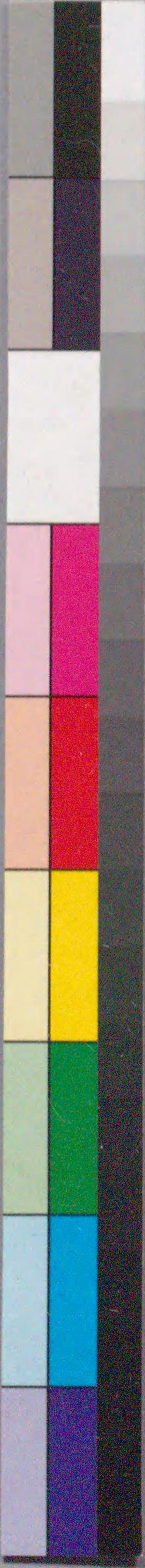
内新好述













207
294

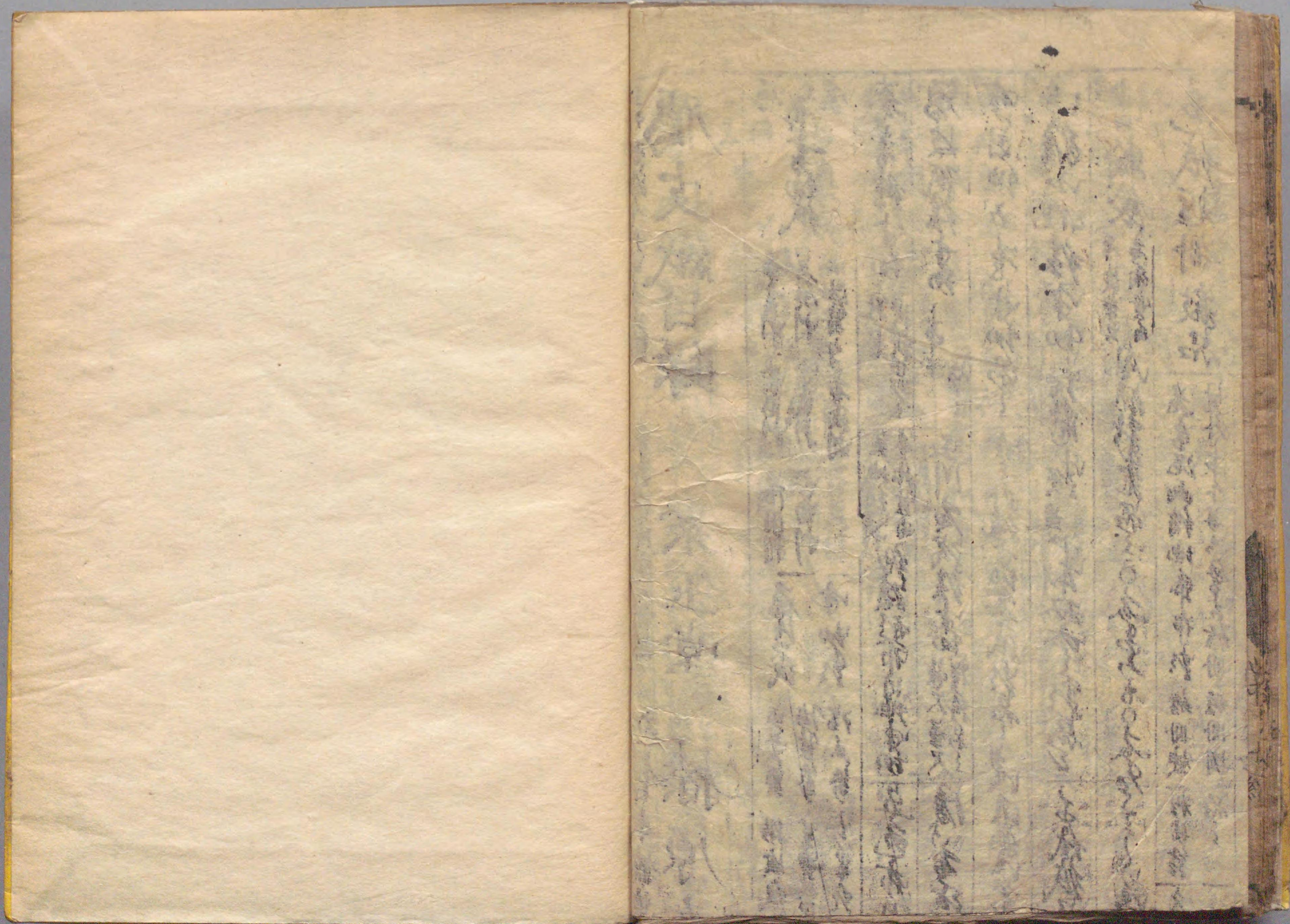
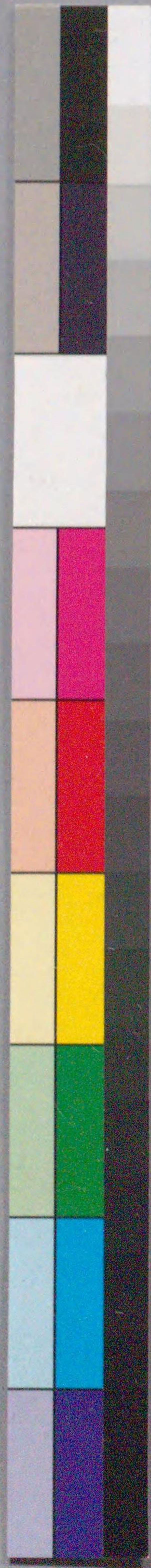
Vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) on the left page.

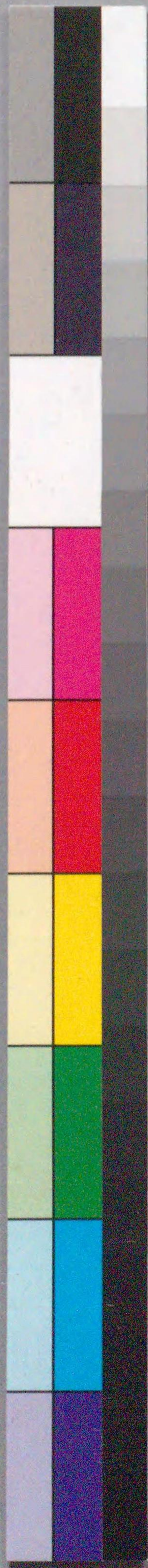


内新好作
肉

Vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) on the right page, positioned above the illustration.







国立国会図書館 名代振袖心中 : 2巻 207-294



ガラス使用

